

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立亀城小学校長
小 川 明 宏

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月18日（火）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、亀城小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国 語	・ 全体的によく定着しており、満足できる状況である。 ・ 観点別では、特に「思考力、判断力、表現力等」の、「話すこと・聞くこと」について大変よく定着している。 ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力や、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力は、大変よく定着している。 ・ 今後は、学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力や、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する力、目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つける力をさらに伸ばしたい。
算 数	・ 全体的に大変よく定着しており、十分満足できる状況である。 ・ 学習指導要領の領域で示す「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域において、大変よく定着している。 ・ 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりするなどの、「数と計算」の力が大変よく定着している。 ・ 今後は、「変化と関係」における、伴って変わる2つの数量について表から変化と特徴を読み取ったり、伴って変わる2つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明したりする力をさらに伸ばしたい。
児童質問紙	・ 授業で学んだことを、他の学習で生かしている児童が多い。 ・ 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めることができる児童が多い。 ・ 学習の中でタブレットなどのICT機器を使用することは、勉強に役立つと意識して使うことができる児童が多い。 ・ 朝食を毎日とっている児童がやや多い。 ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童がやや多い。 ・ 友達関係に満足している児童は多いが、自分と違う意見について考えるのが楽しいと思える児童はやや少ないので、さらに様々な考えのよさを考えることができるように支援したい。 ・ 家庭学習において自分で計画を立てて勉強をしている児童がやや少なく、行っている時間も短い傾向にあるので、自分でさらに学びたいと考えることができるよう支援したい。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください。】